

株式会社 **山善**
2027年3月期
第1四半期

決算補足資料



2026年8月10日

証券コード： 8051



株式会社 **山善**

■ 2027年3月期 第1四半期 決算概要

■ 2027年3月期 業績見通し

Appendix

- 四半期売上高推移
- 中期経営計画
- 株主還元

- 本資料内で記載する計数は百万円未満を切り捨て表示しているため、内訳と合計が合わない場合があります。なお、増減比等は、小数点第1位未満を四捨五入の上、表示しております。
- 「通期業績予想」につきましては、特段の注記がない限り、2026年8月10日に発表した数値を示しております。
- 本資料に記載されている、当社グループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関するもの以外は、将来の業績に関する見通しであり、これらは当社において現時点で入手可能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の業績は、不確定要素や経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

	第2四半期（中間期）			通期		
	2026年3月期 実績	2027年3月期 期初計画 (2026年5月13日発表)	2027年3月期 修正計画 (2026年8月10日発表)	2026年3月期 実績	2027年3月期 期初計画 (2026年5月13日発表)	2027年3月期 修正計画 (2026年8月10日発表)
売上高	259,844	275,000	290,000	541,885	570,000	585,000
営業利益	5,108	5,400	7,000	12,041	13,300	15,000
経常利益	5,413	5,500	7,100	13,010	13,800	15,400
親会社株主に帰属する 中間純利益/当期純利益	4,182	3,600	4,600	9,330	9,000	10,000

修正の理由

2027年3月期 第2四半期（中間期）

生産財関連事業において、半導体・AI、データセンター、航空・宇宙、造船、防衛産業等の需要が当社の想定を上回る推移となり、当社の受注も需要に応じた水準が見込まれる。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表の予想を上回る見込みであるため、2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想を修正。

2027年3月期 通期

2027年3月期通期連結業績予想については、依然として第3四半期以降の市場動向や外部環境の変化等を慎重に見極める必要があるため、現時点では売上高については第2四半期（中間期）までの見直しにとどめ、原価低減効果による営業利益の改善、金利動向及び運転資金の増加に応じたネット財務コストの見直しを踏まえ、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、2027年3月期通期連結業績予想を上記のとおり修正。

■ 2027年3月期 第1四半期 決算概要

■ 2027年3月期 業績見通し

Appendix

2027年3月期 第1四半期 連結損益実績

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率	通期 計画	進捗率
売上高	126,136	145,862	+15.6%	585,000	24.9%
売上総利益 (売上総利益率)	19,114 15.2%	22,391 15.4%	+17.1% +0.2pt	-	-
販売管理費	17,381	19,500	+12.2%	-	-
営業利益 (営業利益率)	1,732 1.4%	2,890 2.0%	+66.8% +0.6pt	15,000 2.6%	19.3% -
営業外損益	57	269	+369.6%	-	-
経常利益	1,790	3,160	+76.6%	15,400	20.5%
特別損益	1,015	2	△99.8%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,823	1,913	+4.9%	10,000	19.1%

売上高 **145,862** 百万円

- 海外における設備投資需要が高水準で推移
- 労働環境改善機器、自動化・省人化対応機器や、空調・給湯機器などの住宅設備が堅調に推移

売上総利益 **22,391** 百万円

- 海外を中心とした売上増による売上総利益額の増加
- 利益率の高い海外売上構成比の増加により売上総利益率が改善

営業利益 **2,890** 百万円

- 人件費や減価償却費が増加したものの、売上総利益の増加分が上回り増益

親会社株主に帰属する 四半期純利益 **1,913** 百万円

- 前年同期の政策保有株式売却益の反動減により、特別利益が縮小

2027年3月期 第1四半期 セグメント別実績

(単位：百万円)

		売上高					セグメント利益（開示セグメントベース、下段は営業利益率）				
		第1四半期実績			通期計画		第1四半期実績			通期計画	
		2026年3月期	2027年3月期	増減率	2027年3月期	進捗率	2026年3月期	2027年3月期	増減率	2027年3月期	進捗率
生産財	機械	15,362	15,421	+0.4%	75,000	20.6%					
	産業S	23,185	28,029	+20.9%	110,000	25.5%					
	T&E	19,987	22,139	+10.8%	84,000	26.4%					
	国内計	58,534	65,590	+12.1%	269,000	24.4%					
	海外	18,887	28,488	+50.8%	116,000	24.6%					
	計	77,421	94,078	+21.5%	385,000	24.4%	1,201 1.6%	2,842 3.0%	+136.5% +1.5pt	14,500 3.8%	19.6% -
消費財	住建	20,987	23,760	+13.2%	92,000	25.8%	547 2.6%	763 3.2%	+39.4% +0.6pt	3,800 4.1%	20.1% -
	家庭機器	26,664	27,030	+1.4%	103,000	26.2%	1,397 5.2%	1,025 3.8%	△26.6% △1.4pt	4,600 4.5%	22.3% -
	計	47,652	50,790	+6.6%	195,000	26.0%	1,945 4.1%	1,789 3.5%	△8.0% △0.6pt	8,400 4.3%	21.3% -
	その他	1,062	993	△6.5%	5,000	19.9%	△1,414 -	△ 1,740 -	- -	△7,900 -	- -
連結		126,136	145,862	+15.6%	585,000	24.9%	1,732 1.4%	2,890 2.0%	+66.8% +0.6pt	15,000 2.6%	19.3% -

※産業S：産業ソリューション、T&E：ツール&エンジニアリング

※2027年3月期の数値はT&E内の一部を産業Sに組み入れ

国内生産財事業

- 半導体製造装置やデータセンター、航空・宇宙、造船、防衛産業等に関連する部品加工メーカー向け工作機械の売上が伸長
- 産業ソリューション事業では、環境改善機器、自動化・省人化対応機器等の売上が順調に推移
- ツール&エンジニアリング事業では、部品加工需要が拡大し、切削工具や測定機器の販売が大きく伸長

海外生産財事業

- 北米では航空・宇宙およびデータセンター需要が伸長し、台湾では半導体・AI関連投資の増加により、売上が拡大
- 中国では半導体・AI、データセンター等の内需、アセアンにおいても生産移管需要と成長産業需要を取り込み売上が伸長
- インドでは二輪・四輪を中心に堅調に推移

（単位：百万円）

	売上高	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率	通期 計画	進捗率
国内生産財	機械事業	15,362	15,421	+0.4%	75,000	20.6%
	産業ソリューション事業	23,185	28,029	+20.9%	110,000	25.5%
	ツール&エンジニアリング事業	19,987	22,139	+10.8%	84,000	26.4%
	合計	58,534	65,590	+12.1%	269,000	24.4%
海外生産財	海外事業	18,887	28,488	+50.8%	116,000	24.6%
合計	売上高	77,421	94,078	+21.5%	385,000	24.4%
	セグメント利益	1,201	2,842	+136.5%	14,500	19.6%
	セグメント利益率	1.6%	3.0%	+1.5pt	3.8%	-

住建事業

- エアコンの省エネ基準引き上げによる前倒し需要や、省エネ改修需要等の影響により空調設備の売上が好調に推移
- 消費者の節約志向に対応した高付加価値商材の提案に注力した結果、給湯機器等の販売も伸長
- オフィスビルなど非住宅分野における環境商材と施工をセットにした設備改修の提案を強化

（単位：百万円）

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期増減率	通期 計画	進捗率
売上高	20,987	23,760	+13.2%	92,000	25.8%
セグメント利益	547	763	+39.4%	3,800	20.1%
セグメント利益率	2.6%	3.2%	+0.6pt	4.1%	-

家庭機器事業

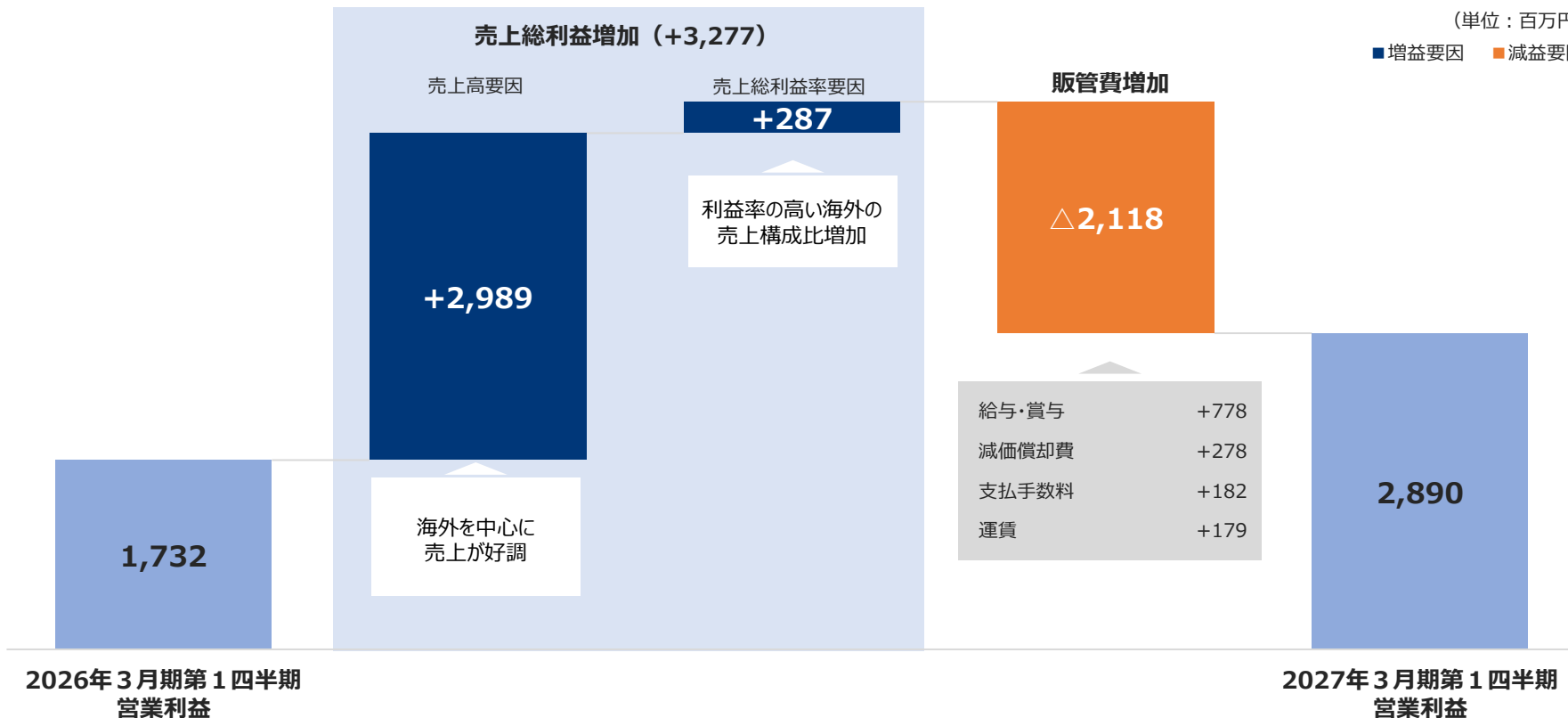
- YAMAZENブランド（プライベートブランド）のラインアップの拡充、SNS・各種メディアを活用した情報発信の強化
- 商品では、空調機器や除湿器、業務用冷凍庫の販売が好調に推移
- ECの売上も伸長し、法人・個人事業主向け自社ECサイト「山善Bizコム」の売上高・会員数も順調に伸長

（単位：百万円）

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期増減率	通期 計画	進捗率
売上高	26,664	27,030	+1.4%	103,000	26.2%
セグメント利益	1,397	1,025	△26.6%	4,600	22.3%
セグメント利益率	5.2%	3.8%	△1.4pt	4.5%	-

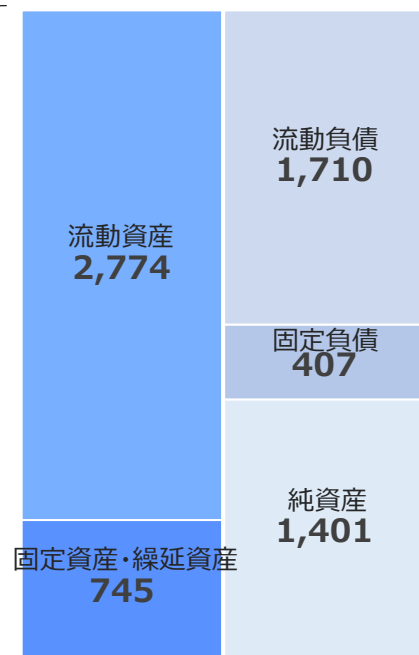
(単位：百万円)

■ 増益要因 ■ 減益要因



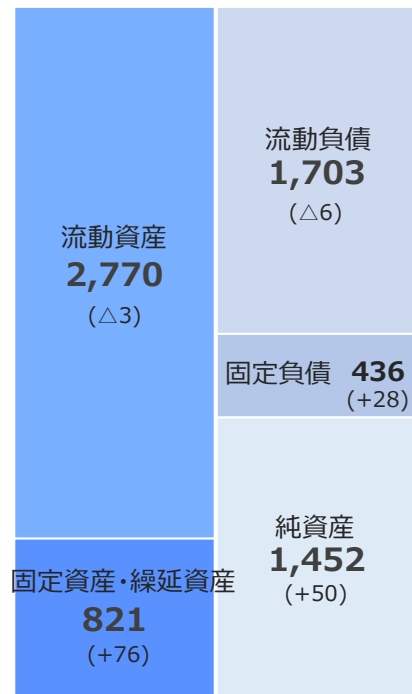
(単位：億円)

総資産
3,519



2026年 3 月末

総資産
3,592
(+72)



2026年 6 月末

2026年 3 月末	項 目	2026年 6 月末
6.1%	R O E	—
39.3%	自己資本比率	39.9%
1,612.56円	1 株 純 資 産	1,621.34円
1,233億円	時 価 総 額	1,485億円
134億円	基 礎 的 営 業 キャッシュ・フロー	16億円

- ※ 時価総額は、決算日の終値に同日発行済株式数（自己株式を除く）を乗じて算定
- ※ 基礎的営業キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローから運転資本増減額を控除して算定
- ※ 億円未満を切り捨て
- ※ 図表の括弧内は前期末比

■ 2027年3月期 第1四半期 決算概要

■ 2027年3月期 業績見通し

Appendix

売上高 対前年増減率 +8.0%

経済環境は不透明であるものの、生産財を中心とした需要回復の取り込みと、実装・拡充してきた経営基盤を有効に活用した営業力の強化によりシェアを拡大させる

営業利益 対前年増減率 +24.6%

基幹システム及び物流システム費の償却、人件費や物流関連費の増加等はあるものの、売上総利益率のさらなる改善と、営業活動の効率化を含めた販管費の見直しを図る

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	対前年増減率
売上高	541,885	585,000	+8.0%
営業利益	12,041	15,000	+24.6%
営業利益率	2.2%	2.6%	+0.3pt
経常利益	13,010	15,400	+18.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,330	10,000	+7.2%

2027年3月期 通期業績計画：セグメント別

(単位：百万円)

		売上高			セグメント利益（開示セグメントベース、下段は営業利益率）		
		実績	計画		実績	計画	
		2026年3月期	2027年3月期	増減率	2026年3月期	2027年3月期	増減率
生産財	機械	71,270	75,000	+5.2%			
	産業S	99,411	110,000	+10.7%			
	T&E	81,575	84,000	+3.0%			
	国内計	252,257	269,000	+6.6%			
	海外	96,961	116,000	+19.6%			
		349,218	385,000	+10.2%	10,423	14,500	+39.1%
					3.0%	3.8%	+0.8pt
消費財	住建	87,403	92,000	+5.3%	3,662	3,800	+3.8%
					4.2%	4.1%	△0.1pt
	家庭機器	101,560	103,000	+1.4%	4,810	4,600	△4.4%
					4.7%	4.5%	△0.3pt
		188,964	195,000	+3.2%	8,473	8,400	△0.9%
					4.5%	4.3%	△0.2pt
その他		3,702	5,000	+35.0%	△6,854	△7,900	-
					-	-	-
連結		541,885	585,000	+8.0%	12,041	15,000	+24.6%
					2.2%	2.6%	+0.3pt

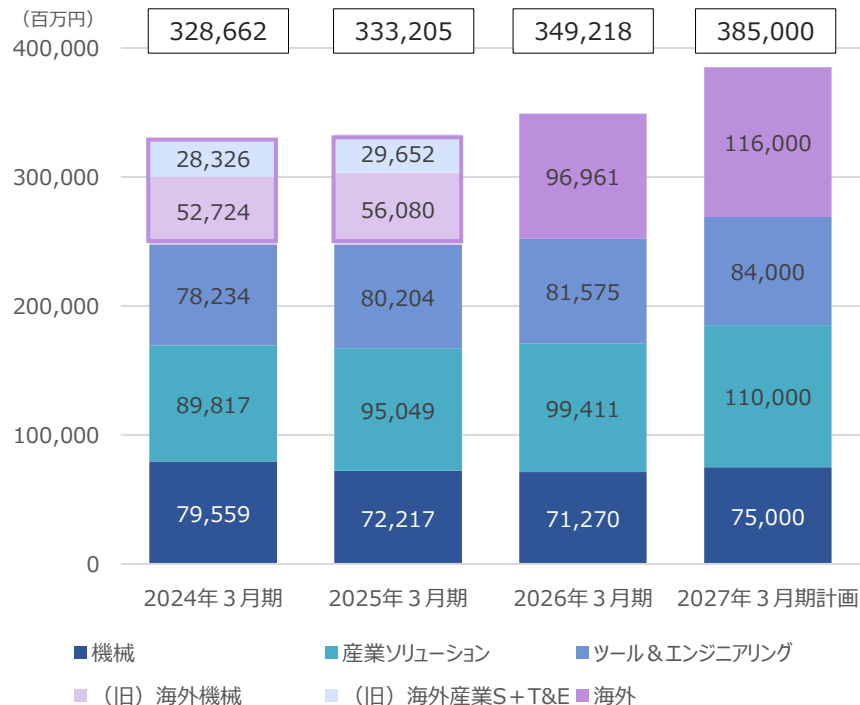
※産業S：産業ソリューション、T&E：ツール&エンジニアリング

※2027年3月期の数値はT&E内の一部を産業Sに組み入れ

2027年3月期 通期業績計画：生産財

※括弧内は対前年増減率

2027年3月期計画
生産財 売上高 **385,000**百万円 (+10.2%) セグメント利益 **14,500**百万円 (+39.1%) セグメント利益率 **3.8%**



機械

- ▶ 工作機械の拡販、補助金を活用した受注拡大
- ▶ 工作機械のみならず、鍛圧機械・産業機械・周辺機器等の拡販による新たな顧客の開拓

産業S

- ▶ 自動化・省人化、作業負荷軽減、環境改善等のソリューション提案の加速
- ▶ オリジナル商品の拡販と新規商品開発の強化

T&E

- ▶ 新領域・成長産業へのアプローチ強化
- ▶ オリジナル商品の開発強化と拡販
- ▶ テライドによる受注業務の自動化で業務効率を向上

海外

- ▶ 商材ポートフォリオの最適化・戦略在庫の整備による収益力向上
- ▶ 半導体関連・新エネルギー等の市場開拓と取扱商材の拡大
- ▶ クロスボーダー戦略・世界のものづくりを支える拠点展開の推進

※産業S：産業ソリューション、T&E：ツール&エンジニアリング

※2027年3月期の数値はT&E内の一部を産業Sに組み入れ 13

2027年3月期 通期業績計画：住建・家庭機器

※括弧内は対前年増減率

2027年3月期
計画

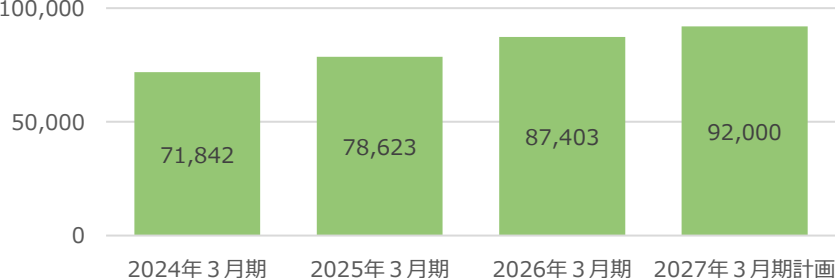
住建

売上高 **92,000**百万円 (+5.3%)

セグメント利益 **3,800**百万円 (+3.8%)

セグメント利益率 **4.1%**

(百万円)
100,000



住建

- ▶ 自社／協力会社の施工を伴う案件の獲得強化
- ▶ PPAや太陽光・蓄電池のセット提案等、新エネルギー提案に注力
- ▶ 家電量販店のリフォームサポートビジネスへ注力
- ▶ 補助金サポート活動や自治体向けのコンサルティングの強化による役務収益の獲得

2027年3月期
計画

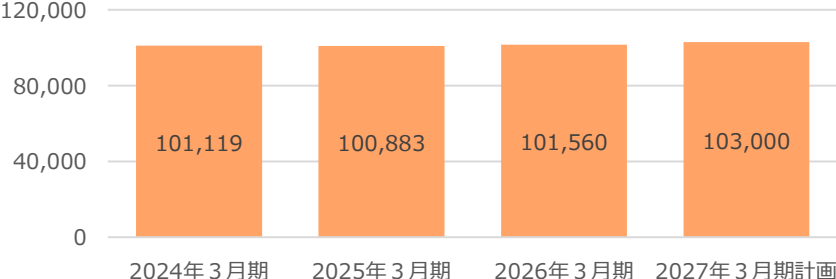
家庭機器

売上高 **103,000**百万円 (+1.4%)

セグメント利益 **4,600**百万円 (△4.4%)

セグメント利益率 **4.5%**

(百万円)
120,000



家庭機器

- ▶ プライベートブランド商品の開発力・商品構成比・ブランド力の向上
- ▶ EC専用物流拠点の稼働によるサービスレベルの向上
- ▶ BtoB販売ルートの開拓
- ▶ 自社ECサイト「山善Bizコム」の売上・会員数の拡大

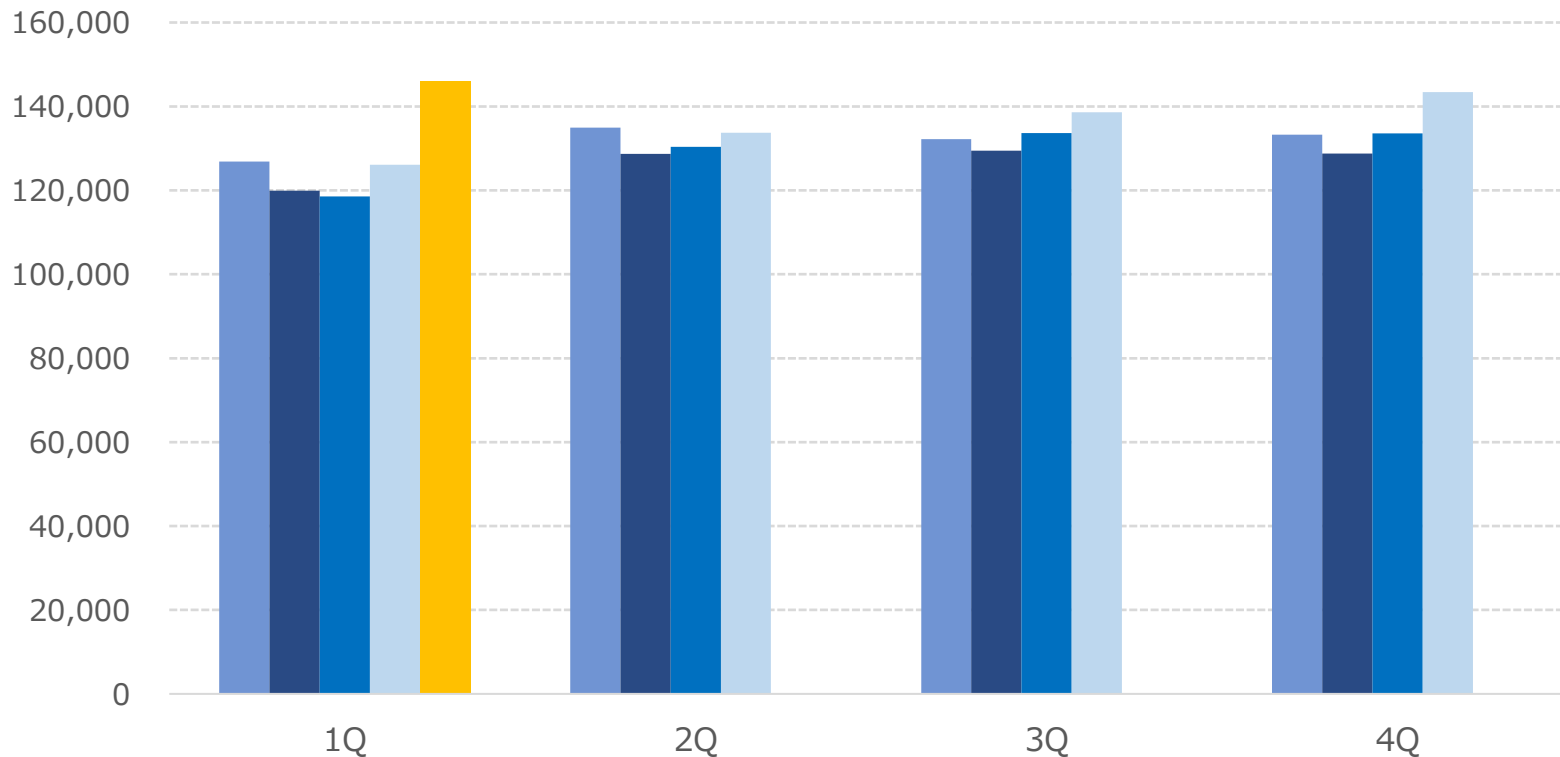
Appendix

- 四半期売上高推移
- 中期経営計画
- 株主還元

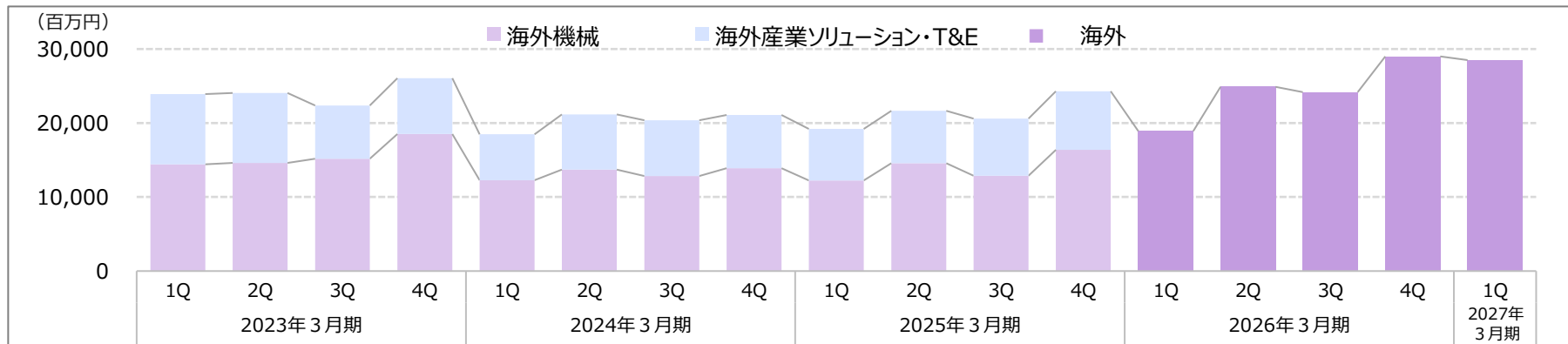
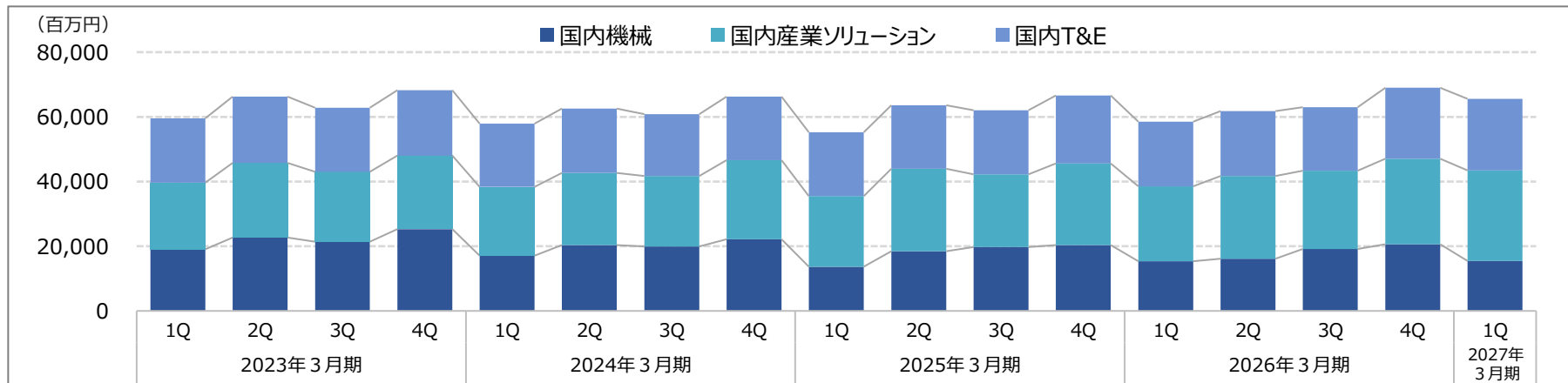
四半期売上高推移：連結売上高

(単位：百万円)

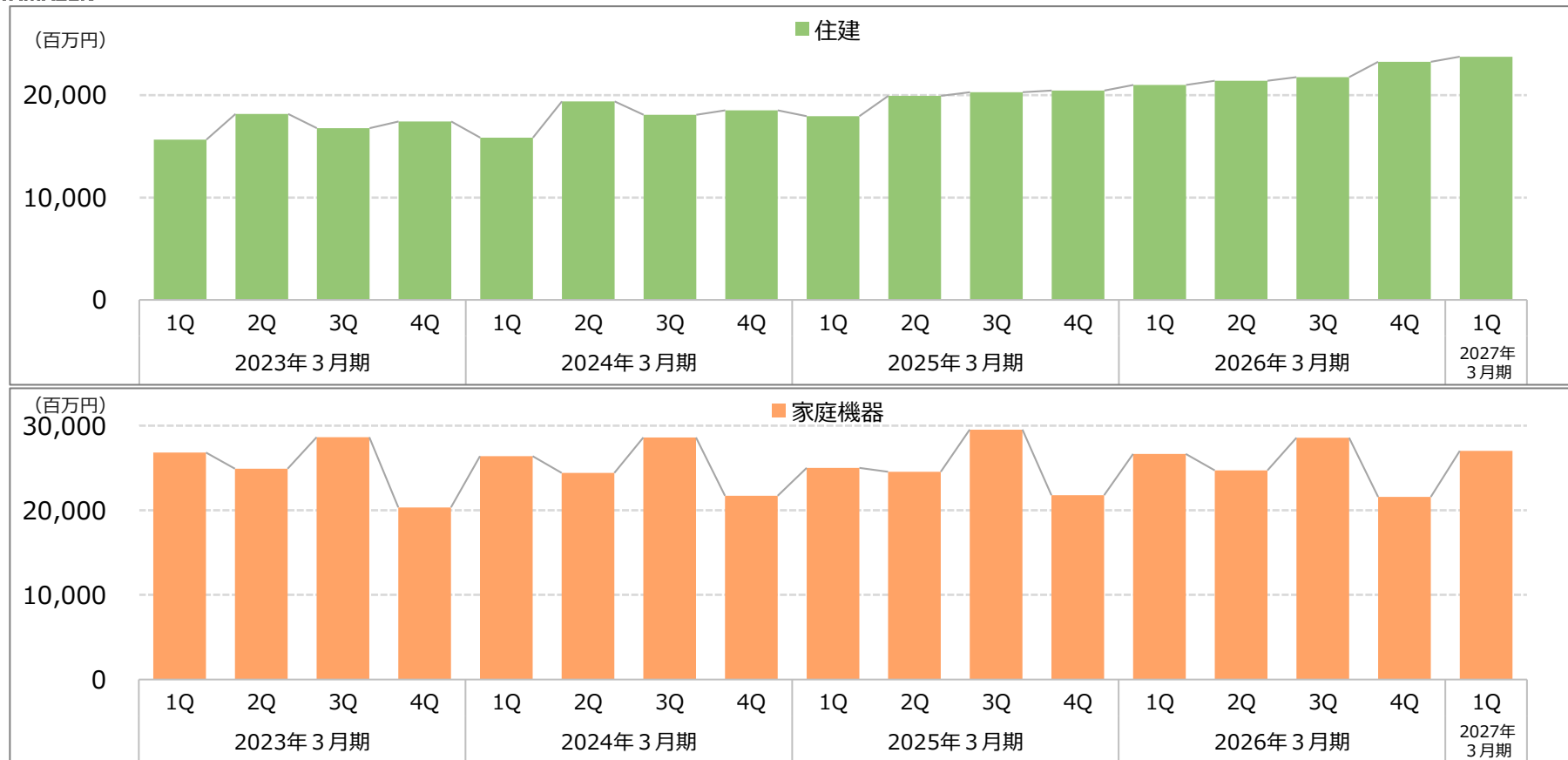
■ 2023年 3 月期 ■ 2024年 3 月期 ■ 2025年 3 月期 ■ 2026年 3 月期 ■ 2027年 3 月期



四半期売上高推移：生産財セグメント（国内/海外）



四半期売上高推移：消費財関連セグメント（住建/家庭機器）



■ 売上/利益

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画 対2026年3月期 増減率		2028年3月期 計画 対2026年3月期 増減率	
売上高	541,885	585,000	+8.0%	600,000	+10.7%
営業利益	12,041	15,000	+24.6%	16,000	+32.9%
(営業利益率)	2.2%	2.6%	+0.3pt	2.7%	+0.4pt
経常利益	13,010	15,400	+18.4%	16,000	+23.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,330	10,000	+7.2%	11,000	+17.9%

■ 経営指標

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画 対2026年3月期 増減率		2028年3月期 計画 対2026年3月期 増減率	
自己資本利益率 (ROE)	7.0%	7.1%	+0.1pt	8.0%	+1.0pt
基礎的営業キャッシュ・フロー	13,470	15,500	+15.1%	14,000	+3.9%
自己資本比率	39.3%	40～45%	-	40～45%	-

中期経営計画：セグメント別

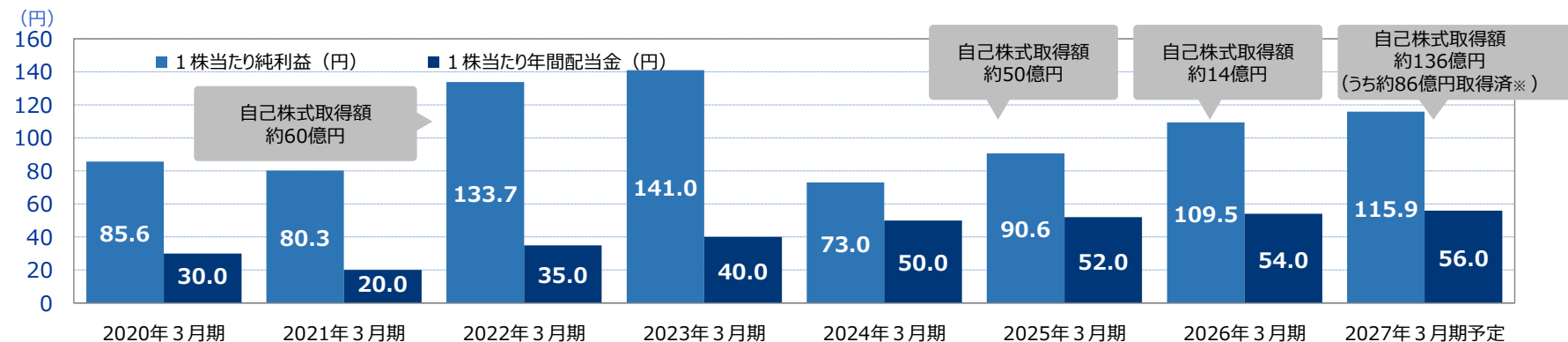
(単位：百万円)

		売上高					セグメント利益（開示セグメントベース、下段は営業利益率）				
		実績	2027年 3 月期 計画		2028年 3 月期 計画		実績	2027年 3 月期 計画		2028年 3 月期 計画	
		2026年 3 月期		対2026年 3 月期 増減率		対2026年 3 月期 増減率	2026年 3 月期		対2026年 3 月期 増減率		対2026年 3 月期 増減率
生産財	機械	71,270	75,000	+5.2%	77,000	+8.0%					
	産業S	99,411	110,000	+10.7%	112,000	+12.7%					
	T&E	81,575	84,000	+3.0%	88,000	+7.9%					
	国内計	252,257	269,000	+6.6%	277,000	+9.8%					
	海外	96,961	116,000	+19.6%	120,000	+23.8%					
	計	349,218	385,000	+10.2%	397,000	+13.7%	10,423	14,500	+39.1%	13,500	+29.5%
消費財							3.0%	3.8%	+0.8pt	3.4%	+0.4pt
	住建	87,403	92,000	+5.3%	93,000	+6.4%	3,662	3,800	+3.8%	4,000	+9.2%
							4.2%	4.1%	△0.1pt	4.3%	+0.1pt
	家庭機器	101,560	103,000	+1.4%	110,000	+8.3%	4,810	4,600	△4.4%	5,500	+14.3%
							4.7%	4.5%	△0.3pt	5.0%	+0.3pt
	計	188,964	195,000	+3.2%	203,000	+7.4%	8,473	8,400	△0.9%	9,500	+12.1%
							4.5%	4.3%	△0.2pt	4.7%	+0.2pt
その他		3,702	5,000	+35.0%	0	-	△6,854	△7,900	-	△7,000	-
							-	-	-	-	-
連結		541,885	585,000	+8.0%	600,000	+10.7%	12,041	15,000	+24.6%	16,000	+32.9%
							2.2%	2.6%	+0.3pt	2.7%	+0.4pt

※産業S：産業ソリューション、T&E：ツール&エンジニアリング

※2027年 3 月期、2028年 3 月期数値はT&E内の一部を産業Sに組み入れ 20

- 配当性向40%／DOE3.5%のいずれか高い金額を採用



		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 予定
配当金額 (円)	中 間	16.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	期 末	14.0	10.0	*25.0	20.0	30.0	32.0	34.0	36.0
	年 間	30.0	20.0	35.0	40.0	50.0	52.0	54.0	56.0
配当性向 (%)		35.0	24.9	26.2	28.4	68.5	57.4	49.3	48.3
DOE (%)		3.0	1.9	2.9	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5
年間配当金 (百万円)		2,837	1,891	3,115	3,560	4,451	4,453	4,655	4,747
自己株式取得金額 (百万円)		-	-	5,999	-	-	4,999	1,414	13,585
総還元性向 (%)		35.0	24.9	75.8	28.4	68.5	120.5	65.3	183.3

ともに、未来を切拓く

